

安里・上江門家周辺まち歩き

八重瀬町ガイドの会

①

上江門家 旧具志頭村を代表する豪農の旧家。1700年代に安里古島から移動。石つくりのヒンプンをはじめ、石を多く取り入れた屋敷林がある。母屋、フール、家畜小屋、アシャギがあった。母屋の造りは、多多名城の末裔ということで、配置が反対になっている。築150年といわれる。上江門家から上に家は作ってはいけないとされた。

③

新殿内 (みーどうんち) ウスデークの時、巫女殿内、新殿内、孝神堂、公民館の順で回る。

②

巫女殿内 (ぬるどんち) 具志頭巫女が事情で安里に移り、以後安里巫女と呼ばれた。

⑦ **座嘉武井泉** 座嘉比村で使用されたが、座嘉比村の人々が移動したので、安里部落が使用している。

⑥

孝神堂 180年前に建立され、昭和60年に改造された。御神体は、浜川大主の一人娘の乙鶴という女神。ここには、男性は入ってはいけないとされる。

⑤

殿武林 (でいんぶり) 平敷屋大主の次男の「虎千代」が祀られている。孝神堂とは違って、女性が入ってはいけない。

④

座嘉比の殿 (ざかびのとうん) 旧座嘉比村に属する殿である。座嘉比村は安里に移動、現存しない。

⑤



赤瓦古民家



粟石小屋

粟石石積

琉球石灰岩石積

⑧ **安里の獅子** 村の外れ (ホーク) にあり、西を向いている。自然石でできている。向かいに砂糖屋があった。

H26.11.
同景
ネット7-7